

# 重点目標一覧表

【平成24年度重点目標】

重点目標	上小医療圏地域医療再生計画に基づいた地域医療提供体制の確立	
具体的な重点取組項目（簡条書き）	達成状況・達成度	
1	<p>信州上田医療センターの機能強化と地域医療教育センター事業に対する継続支援</p> <p>医師確保や深夜等の初期救急患者受入体制等、定住自立圏共生ビジョン関係事業の地域医療再生事業終了後における内容を検討 上田市内科・小児科初期救急センターの利用促進 医療の仕組を分かりやすく解説した冊子の作成</p>	<p>信州上田医療センター医師数の増加、H25.4.1現在50人（前年同期比9人増） 疾病予防市民公開講座を3回開催、参加者数計676人 医師確保修学資金新たに3人に貸与 検討会議4回、関係機関の意見聴取実施 支援内容は平成25年度中に決定する。 利用者は4,207人（前年比247人減）と安定している。 医療の仕組の冊子作成済み 平成25年4月に全戸配布</p>
重点目標	生涯健康ではつらつと暮らせる健康づくり事業の推進	
具体的な重点取組項目（簡条書き）	達成状況・達成度	
2	<p>上田市民総合健康づくり計画の策定</p> <p>「ひとまちげんき・健康プラザうえだ」を拠点とし、個々の健康状態に応じた対象者別の健康づくり事業を実施 上田市食育推進計画に基づく食育の周知 特定健診及び各種検診の受診率の向上</p>	<p>庁内会議7回、庁外関係者会議3回、健康づくり推進協議会4回開催 3月に答申・策定 様々な対象と健康状態に応じた運動講座（15講座）に延2,925人 食の講座（8講座）に延1,231人参加</p> <p>食育フォーラムの開催、参加者約300人 特定健診の受診率は33.0%（速報値）となり、目標管理における数値目標は達成した。</p>
重点目標	安全・安心な医療の提供と地域の周産期医療の推進	
具体的な重点取組項目（簡条書き）	達成状況・達成度	
3	<p>信州上田医療センターの小児科をはじめとする関係各科との連携によるより安全な医療の提供 院内研修会・ケースカンファレンス・院内会議等を定期的に実施情報の共有化及びスタッフのスキルアップの推進 女性のライフサイクルに応じた医療サービスの提供 安全・安心な医療提供を進めるための医療機器の整備</p>	<p>年度当初から連携し、小児科は帝王切開立会34回、回診・緊急診察等の連携実績111回、MRI、緊急血液検査等検査実施件数は32回 院内会議、管理会議及び全スタッフ会議計59回を実施し情報の共有化を図った。 院内研修18回、カンファレンス44回を実施し、スタッフのスキルアップの推進を図った。</p> <p>新たに企業を対象とした子宮頸がん検（1社4人）及び子宮頸がん予防のためのワクチン説明会（7回）・接種を実施した。 分娩監視装置、内診台等を購入し整備した。</p>
重点目標	第二次地域福祉計画の策定と更なる地域福祉の充実	
具体的な重点取組項目（簡条書き）	達成状況・達成度	
4	<p>第二次地域福祉計画（H25～29）の策定</p> <p>上小圏域成年後見支援センター開設による相談支援体制の充実 適正な生活保護の実施と制度の運用 障害者基本計画後期計画（H23～25）に基づく障害者福祉の推進 障害福祉計画の第3期計画（H24～26）に基づく障害</p>	<p>庁内会議5回、策定委員会4回、市民アンケートの実施・関係団体等との意見聴取など、多くの市民の意見を反映、3月に答申・策定 H24年4月開所、年間相談受付件数983件（内障害者194件、高齢者722件、民生委員等その他67件） 扶養義務調査の特定が必要なケース42ケースについて再調査を行い適正化に努めた。 団体懇談会（11団体、39人参加）、出前講座（5回、149人参加） 障害者虐待防止センター設置（通報13件） 障害者自立支援協議会（本会3回、部会37回開催） 指定特定相談支援事業所を18箇所指定 事業所においてサービス等利用計画約250人分作成（全体の4分の1）</p>
重点目標	第5期高齢者福祉総合計画の推進	
具体的な重点取組項目（簡条書き）	達成状況・達成度	
5	<p>地域包括ケアの推進</p> <p>定期巡回・随時対応サービス事業者の整備計画の推進 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の検討 認知症地域支援施策推進事業の推進 上田市認知症高齢者家族やすらぎ支援事業の実施 認知症施策総合推進事業の実施 上小圏域成年後見支援センター開設による相談支援体制の充実</p>	<p>定期巡回随時対応サービス事業所を平成25年度開設に向け準備、検討 総合事業では、包括支援センター、居宅介護支援事業者等と計8回の検討会を開催するなど実施方法を検討した。 やすらぎ支援員を19人養成し、10月から派遣事業開始。認知症地域支援推進員を配置するなど認知症施策事業を実施。成年後見支援センターを平成24年4月開所。相談受付数983件（うち高齢者関係722件）</p>
重点目標	国保財政の健全な運営と医療費適正化に向けた保健事業の推進	
具体的な重点取組項目（簡条書き）	達成状況・達成度	
6	<p>健全な国保財政を運営するための適正な国保税率の検討 国保税収納業務における収納管理課との連携の推進 特定健康診査(国保)の実施率の向上</p> <p>高齢者の保健事業の普及拡大 後発医薬品利用差額通知(国保)の発送</p>	<p>医療費等の実績（見込）に基づき、財政推計を実施 口座振替の勧奨（納付書に同封 8,311件郵送） 40歳以降5歳刻みで無料化を実施 無料化対象者の実施率は対象 外の実施率と比較すると4.7ポイント高くなった。 リーフレット等による周知啓発 25,600件配布 利用率（数量ベース）31.6%で国の目標（30%）を達成</p>

**市長指示事項**

- ・地域医療提供体制の確立については、上田市の役割を發揮しつつ充実させるよう引き続き取り組むこと。
- ・健康づくり事業への参加者が増えるよう、先進地等も参考にしながら工夫を凝らした取組方を検討すること。
- ・ジェネリック医薬品の利用率については、より高まるよう啓発にも工夫しながら取り組むこと。

担当部局名 健康福祉部

【平成25年度重点目標】

重点目標	上小医療圏地域医療再生計画の推進と計画期間終了後の計画策定	
具体的な重点取組項目（簡条書き）	期限・数値目標等	
1	<p>地域医療再生事業に基づく上田市主体事業の実施</p> <p>平成25年度までの地域医療再生事業終了後における平成26年度以降の新たな計画策定 信州上田医療センターの地域がん診療連携拠点病院指定に向けた支援</p> <p>地域の医療環境を守るため、医療機関の役割を広報し、適切な受診を推奨</p>	<p>初期救急センター運営と周知及びセンターの改修、産婦人科病院の医療機器整備計画を上半期に策定し、平成26年度当初予算に反映 信州上田医療センターのがん治療用医療機器整備に対する支援 4月に医療の仕組みの冊子を全戸配布するほか行政チャンネル等での広報実施</p>
重点目標	第二次上田市民総合健康づくり計画の推進	
具体的な重点取組項目（簡条書き）	期限・数値目標等	
2	<p>第二次上田市民総合健康づくり計画の周知と推進</p> <p>運動実践者・継続者の増加を目的に「ひとまちげんき・健康プラザうえだ」等を拠点とし、個々の健康状態に応じた対象者別の健康づくり事業を実施 思春期における食育の推進 特定健康診査及び各種検診の受診率の向上</p> <p>こころの健康づくりの推進</p>	<p>7月に健康フォーラムの開催や計画がイラスト版の作成等、広報を実施し周知 運動講座参加者数延3,500人、各種講座の継続参加率80%以上 高校生向けの食育講座の実施 特定健診の受診率35% 保健指導の実施率40% ゲートバ-養成講座と講演会の開催</p>
重点目標	第5期高齢者福祉総合計画の推進	
具体的な重点取組項目（簡条書き）	期限・数値目標等	
3	<p>介護予防・日常生活支援総合事業の実施</p> <p>高齢者福祉サービス事業の充実</p> <p>介護保険施設基盤整備の推進</p> <p>介護保険適正化事業（ケアプラン点検、認定調査状況チェック、住宅改修等点検、国保連データ突合点検、介護給付費通知）の実施</p>	<p>6月から通所型介護予防事業開始 参加目標人数：400人 配食サービスを10月から4地域で事業統一 昼食、夕食を提供 地域密着型サービス：4種類10事業所整備 特定施設：1事業所整備 ケアプラン点検等主要5事業の実施 福祉機器展・講演会・講習会来場目標：300人</p>
重点目標	地域福祉の更なる推進と障害者福祉の充実	
具体的な重点取組項目（簡条書き）	期限・数値目標等	
4	<p>第二次障害者基本計画（H26～30）の策定</p> <p>障害者総合支援法への改正に伴う円滑な障害者施策の推進</p> <p>地方分権一括法による権限委譲への対応</p> <p>第二次地域福祉計画に基づく地域福祉推進体制の整備 ・災害時要援護者登録制度（住民支え合いマップ）を通じた住民支え合いづくりの推進 ・地域の社会資源を活用した地域福祉推進の啓発 ・赤十字奉仕団等ボランティア団体の育成、支援 ・民生児童委員活動を円滑にするための情報提供のあり方の研究 適正な生活保護の実施と制度の運用 ・就労支援の充実</p>	<p>庁内会議・策定委員会（諮問・答申）を開催し、策定（平成25年度中） 出前講座等により制度改正の周知・啓発（平成25年度中） 社会福祉法人の許認可、指導監査（5法人）、関係部局との統一した実施など連携（4月～） 平成25年度中 ・全自治会（240自治会）での取組 ・8月に「地域福祉推進フォーラム」を開催 ・調査研究、団体との協議、関係機関等との連携 ・先進地視察、調査研究の実施 平成25年度中 ・就労可能者の20%以上を特別支援対象</p>
重点目標	安全・安心な医療の提供と地域の周産期医療の推進	
具体的な重点取組項目（簡条書き）	期限・数値目標等	
5	<p>安全な医療に向けた診療・看護体制の充実 信州上田医療センターとの連携の拡大</p> <p>研修会・学習会・院内会議等を定期的実施することによる情報の共有化とスキルアップの推進 安全・安心な医療提供を進めるための搬送用保育器等医療機器等の整備</p>	<p>看護の夜勤を3人体制で実施（10月末まで） 婦人科関係検査の連携（5月末まで） 産婦人科医師との連携（H26年3月まで） 通年</p> <p>10月末まで</p>
重点目標	国保財政の健全な運営と医療費適正化に向けた保健事業の推進	
具体的な重点取組項目（簡条書き）	期限・数値目標等	
6	<p>健全な国保財政を運営するための適正な国保税率の検討 国保税収納業務における収納管理課との連携の推進 レセプト再審査点検の強化や後発医薬品利用差額通知による医療費の適正化 特定健康診査(国保)の実施率の向上と高齢者の保健事業の普及拡大 常設の年金相談所の設置への働きかけ</p>	<p>11月から3月までの間に運営協議会を開催 納付書送付時、窓口等での口座振替の勧奨 差額通知2回、後発医薬品利用率33%以上 特定健康診査の実施率35%（H26年1月まで） 平成25年度中</p>

**市長指示事項**

- ・地域医療再生事業については、計画に基づきながら更なる前進が図られるよう鋭意取り組むこと。
- ・健康づくり事業への参加者増、特定健診等の受診率の大幅な改善に向け、引き続き工夫を凝らし取り組むこと。
- ・高齢者に対する地域包括ケアについては、充実が図られるよう取り組むこと。
- ・国保財政については、適切な運営が図られるよう引き続き対応すること。